

K. H.（社会システム学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

もともと高校生の際に学校のプログラムであった留学に行こうか迷っていたけど、その時は留学に対する不安が大きくて結局諦めてしまったので、大学生になったら絶対、留学に行こうと決めていました。また、自分は外資系のアパレルブランドでアルバイトをしていてそこから送られてくる資料が英語で書かれていたのと、将来的にはアパレルのバイヤーになりたいと考えているので、英語の力を伸ばしたいと思い、留学を決めました。さらに自分の性格の面でも、自分はあらゆる場面で消極的になってしまい、自分の思っていることをあまり口に出さない性格なので、さまざまな国の人と関わることのできる留学を機に自分を変えたいと思っていました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学前の語学勉強は、人の言っていることを理解しそれに対して自分も思っていることを正しく伝えられるようにと思い、ボキャブラリーを増やすために単語帳で単語やイディオムを勉強していました。留学前はボキャブラリーの勉強しかしていなかったけれど正直それはそこまで重要ではなかったと思いました。オーストラリアに着いていざ会話してみると言っていることを理解する以前に聞き取りが全然できなかったのでリスニング力を上げるための勉強をすれば良かったと思いました。ビザ申請の手続きは少しお金を払って業者の方にしていただくこともできたのですが結局自分でしました。全て英語で書かれた質問の中には理解が難しいものもありましたがネットでビザ申請について調べると丁寧に解説されているページがあったのでスムーズに進めることができました。

③ 現地到着後

空港からホームステイ先までは今回利用させていただいていたホームステイネットワークの方に送迎してもらいました。空港からホームステイ先までは一時間弱ぐらいで着くことができました。着いてすぐにホストファミリーがドライブに連れて行って来て海辺や山の上からゴールドコーストの景色を見せてくれました。ホームステイ先では家の wi-fi を使わせてもらっていたのですが、外でネットを利用するには SIM カードが必要だったので、着いた次の日にホストマザーがショッピングセンターに連れて行って来て、そこで SIM カードと公共交通機関を利用する時に使う IC カードの go card を買うことができました。GELI のオリエンテーションには、前日にホストマザーと GELI に行って学校の敷地内を探検したので迷うことなく行くことができました。オリエンテーションでは wi-fi の設定と敷地内の案内をして頂きました。わからないことがあっても同じオリエンテーションに出て

いた人や GELI のスタッフの方が教えてくださったので困ることはありませんでした。

④ 語学研修機関

a. 施設・環境・スタッフ

キャンパスはとても広く、キャンパス内にいくつもカフェがあったり、大きい図書館があったりしてとても便利でした。私は、放課後に学校の図書館に行くことがよくあったのですが、図書館はとても居心地が良いです。また、GELI の先生はみんなとても優しくて何か相談をするとの確かなアドバイスをくれます。とても話しやすく楽しいです。学校の前にすぐバス停やトラムの駅があるので放課後はどこにでも行けます。私はムービーワールドやシーワールドなどゴールドコーストの 4 種類のアミューズメント施設に使える年間パスを買ったので、放課後は友達とムービーワールドやシーワールドに行ったり、ショッピングセンターやアウトレットに行ったりしていました。

b. 授業内容、課題、試験

はじめは授業が難しく感じていましたが、慣れてくると楽しく授業を受けられるようになりました。授業では座っている席のグループでの話し合いが多かったです。クラスは 5 週間ごとに変わるのですが、毎ターム 5 週目に大きいプロジェクトがあり、グループで対決するディスカッションやパワーポイントを使った発表などがあり、それに向けた準備が少し大変でした。課題の量は先生によって違います。多い時は課題でいっぱいいっぱいになっていましたが、それも慣れます。試験はクラスのレベルごとにテストの方式や回数がありますが、大体授業と同じレベルのテストなのでそこまで苦戦するようなことはありませんでした。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

休みの日はホストファミリーや友達と出かけることが多かったので休日に行われる学校のアクティビティに参加することはありませんでしたが、平日の放課後に行われるアクティビティには何度か参加しました。学校でビーチバレーやバスケットをしたり、ビーチで BBQ をしたりしました。アクティビティに参加することでクラスの違う生徒とも話せるので楽しいです。ボランティアは学校のアクティビティであったのですが、休日にあることが多く、私の予定と合わなかったので一度も参加できていません。

⑥ 現地での住まいについて

ホームステイ先はヘレンズベールという大きい駅から近かったのでどこに行くにも便利でした。学校にはバスに乗り 30 分ぐらいで行くことができました。家は大きくて綺麗で、ホストファミリーはとても優しくかったので、毎日楽しく過ごすことができました。食事は家で食べることがほとんどでたまに友達と外食することもありました。ホストマザーが毎日

学校に持っていくお昼ご飯と夜ご飯を作ってくれていたのですがどれもとてもおいしかったです。パスタやディッシュサラダやローストポークをよく作ってくれて、たまにラム肉も食べさせてくれました。ホストマザーは私が日本の料理の味が恋しくならないようにとインスタントの味噌汁を用意してくれていましたが一度も飲むことはありませんでした。また、巻き寿司や照り焼きチキンなども作ってくれました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期の休みはありませんでした。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学期間中は毎日新しいことに気づいたり、自分の成長を感じたりすることができて楽しかったです。放課後に学校の近くのサウスポートという場所で遊んだり、ムービーワールドに行ったり、友達の家でバーベキューやパーティをしたり、休みの日にはパシフィックフェアというショッピングセンターでショッピングをしたり、ビーチで花火を見たり、ブリスベンに行ったりしました。そして、ホストファミリーにはたくさんの場所に連れて行ってもらいました。中でも思い出に残っているのはホームステイ先を退去する前の最後の日曜日にホストファミリーにドライブに連れて行ってもらった時のことです。私はオーストラリアに着いた当日もホストマザーにドライブに連れて行ってもらったのですが、その時と同じコースで海岸や山に行き、山の上で車を止めて、そこで景色を見ながらピクニックをして自分が着いた初日の話やたくさんの思い出の話をしました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

着いてすぐは自分の英語が通じるかが不安で、英語を話すのが恥ずかしくて上手く話せなかったです。それを解消するのが唯一苦労したことですが、これも外国人の子と仲良くなってからは英語で会話をするのに慣れました。生活面でも特につらかったことはなかったのですが、日本に帰る時に友達やホストファミリーとお別れするのがとても悲しかったです。私はホームステイ先を退去してから数日間ホテルに泊まっていたのですが、そのホテルまでホストファミリーが送ってくれ、その時に号泣し、また日本に帰る日は友人たちが学校を休んでまで空港に来てくれ、写真やメッセージをくれて、飛行機に乗る時がとても悲しかったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

みんな寝るのが早いということです。オーストラリアに行く前に、夜にお店が開いていな

いというのは聞いていたのですが、店によっては開いているところもあります。しかし、曜日によっても変わってくるのですがショッピングセンターなどは閉まるのが早かったです。そのため、夜は出歩いている人が少ないので、夜に一人で歩くのは少し危ないと感じました。自分が思っていたよりも文化・習慣の違いで驚くようなことはありませんでした。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

GELI での授業やテストはパソコンを使って行うのでパソコンは必須です。その他には、海外対応の電源タップを持っていると便利でした。オーストラリアで基本なんでも買えるので絶対に持って行ったほうがいいというわけではないのですが私は緑茶のティーパックをオーストラリアで買ってたまに飲んでいたので日本から持って行ってもいいと思います。自分の中で一番持って行って良かったのは、ヘアミルクやヘアオイルです。私はオーストラリアでブリーチをした時に日本でブリーチする時よりもすごくダメージが酷かったので、ヘアケアのものは自分に合ったものを持っていくのがいいと思います。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

一番わかりやすく変わったのはリスニング力が上がったことです。留学前に受けた TOEIC よりも帰ってきてから受けたものではスコアが上がっていました。他にも、GELI での学習で自分にあった英語の勉強方法を見つけることができたと思うので英語学習に対するモチベーションが上がりました。前までは日本での英語の授業で発言することが苦手だったのですが、帰ってきてからは自分から発言できるようになっていました。先生方や友達のおかげで英語に対して積極的になれるようになりました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学に行く前は、自分の現在の英語力やオーストラリアに行ってから学習面や生活面に対して不安を抱えていましたが、実際行ってみると不安に思うようなことはなくなり、生の英語を聞いて生活していく中で自然と英語の力をつけることができました。思い出も楽しい思い出ばかりで、とても貴重な経験になりました。留学を決めるのに自分は勇気がなかなか出なくてたくさん迷って決めるのに時間がかかりましたが、留学を決めてよかったと今では強く思っています。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私は現代社会学部社会システム学科で現在はたくさんの分野について学んでいますが、3年生からのゼミではビジネスについて学ぶ予定です。それと同時に英語の学習を続けてグローバル社会で活躍するのが目標です。現在は、シーズンごとにひとつの国の文化にインスピレーションを受けて服を製作しているアパレルブランドでアルバイトをしているのですが、自分がバイヤーという職業に興味があるということで、このブランドが経営しているセレクトショップにも立たせていただいてたくさんのことを学ばせていただいています。私の大学卒業後の進路は、アパレルブランドの販売員としてのキャリアを積んだ後にバイヤーとして働くことです。

V. 写真



DEP5 のクラスの最終日の写真です。とても仲の良いクラスで最終日はみんなでお菓子を食ったりゲームをして遊んだりしてとても楽しかったです。

H. T.（社会システム学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

中学生の頃から留学に憧れていて、高校生の時に行く予定がコロナ流行により留学に行くことができず、大学で留学経験をしたいと思ったのがきっかけです。また、大学入学前からセメスター語学留学について調べていて、入学後も現代社会学部で行っている英語特別プログラム（CASE）の授業を通して英語力を伸ばし、留学して現地ではできない経験を大学生のうちにしたいと思ったからです。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学決定後から、勉強面では毎日 TOEIC に向けての勉強を中心に単語を覚えることや英会話の表現を学んだり、YouTube を利用してシャドーイングをしたりしていました。また、国際課で提供されているチャットルームを可能な限りほぼ毎日利用し、空いている時間に英会話の練習をしていました。その他は半年会えないこともあり、家族や友達と出かけたり遊びにいったりしました！

ビザ申請はもっと時間がかかるものだと思っていましたが、長い入力を頑張って終わるとすぐ発給されました。同女で事前授業がしっかりあるので、そこでたくさん教えてもらえますし、わからなければ国際課の方にも聞くことができるので安心でした。

③ 現地到着後

空港からホームステイ先までは送迎を頼んでいたもので、送ってもらいました。ホームステイ先は空港から少し離れていたため 1 時間ほどかかりました。ホームステイ先に到着するとホストファミリーが待っていてくれました。その後、ショッピングセンターに連れて行ってもらい携帯の SIM 設定やゴーカードなど必要なものの準備を一緒にしてくれました。

語学学校のオリエンテーションは 2 日間あり、1 日目はオンラインでの参加で、2 日目は実際に大学に行ってキャンパス紹介などのオリエンテーションでした。私は、この日に韓国人の友達に話しかけ友達を作りました。できるだけたくさんの人と積極的に話すことがいいと思います。

④ 語学研修機関

a. 施設・環境・スタッフ

建物はとてもきれいでした。授業が終わってからは図書館を使用することができ、希望すればジムも使え、他のアクティビティの機会も提供されていました。スタッフの方はどの人もいい人で、困ったら優しく対応してくれます。担当の先生もとても熱心で、学習方法の相

談から悩み事まで相談に乗ってもらえます。フレンドリーな先生が多いので仲良くなりやすいです！

b. 授業内容、課題、試験

5 週間ごとにクラスと先生が変わり、先生により授業の仕方が異なるので、いろんな方向から英語を学びました。私は Dep5 から始まり 10 週間経ってから Dep6 に上がることができました！クラスが変わるのでたくさんの人と友達になることができ、様々な国の友達ことができました。課題は Dep6 になると少し多かったです。しかし、自分のためになる課題で英語力のライティングスキルとリーディングスキルがついたと思います。試験は 5 週目にありライティングテスト、リーディングテスト、リスニングテスト、スピーキングテストがありました。この試験でクラスを上げられるか上がれないかが決まります。試験はそこまで難しく感じませんが、ライティングテスト以外は対策することができません。実力のテストという感じです。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ活動には参加しませんでした。学校の授業が終わると、仲良くなった韓国人の友達たちと図書館に行き課題や授業の復習をしていました。また、休憩中に大学で販売しているスイーツを買いに行ったり、おしゃべりをしたり楽しい放課後を過ごしていました。金曜日は、ビーチやどこか違う場所に行き遊ぶ日と決めていました。

ボランティア活動はゴールドコーストマラソンに参加しました。走り終えたランナーのサポートをするために朝の 4 時に起き 5 時から活動するというハードなスケジュールでしたが、とてもやりがいを感じることができました。

⑥ 現地での住まいについて

ホームステイは大学から少し離れていました。バス、電車、トラムを使って 1 時間～1 時間半ほどかかりました。少し長く感じることもありましたが、途中にはショッピングモールがあるので帰りにすぐ寄ることができて楽しかったです。ホームファミリーはとても優しく楽しいファミリーでした。家族構成はファザーとマザーがいて、同じ大学に行く日本人のルームメイトが一人いました。遊園地や観光地スポットに休日に連れて行ってもらいました。夜ご飯は毎日作ってくれ、みんなで話しながら食べていました。たまに私たちが日本食を作るととても喜んで食べてくれました。特に日本のカレーライスを気に入ってくれました。帰国後もたまに連絡を取り合うほど、今でもオーストラリア生活が日々恋しいです。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇はなかったです。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

楽しかったことは日々のホストファミリーや現地ですぐできた友達との生活です。その中でも最も楽しかったことは、誕生日の日です。誕生日の前日から友達が家に泊まりに来てくれて、ビーチに連れて行ってくれたり美味しいご飯を一緒に作ったりしました。当日の朝からバースデーカードを置いてくれていて、家の近くのカフェに朝ご飯を食べに行きました。学校でも先生やクラスメイト全員にお祝いしてもらい、家に帰るとホストファミリーがプレゼントとサプライズケーキを用意してくれていました。日本だとお盆で学校に行ったことがなかったので、オーストラリアでは誕生日に大学に行きいつものとは違う楽しい 20 歳の誕生日になりました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

辛いと感じたことはあまりなかったです。しかし、初めの方は英語を話すことも聞き取ることもスムーズにできなかつたので慣れるまでに少し苦勞しました。毎日少しずつ努力していくことで、日々の自分の成長を感じ楽しむことができました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

自分がやりたいと思ったことはやり抜くこと、開店時間や閉店時間がその店の人の気分で変わったり、ショッピングセンターでも 17 時に閉まったりするほど早く閉まることに驚きました。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは大学の授業で使うので必ず要ります。電子レンジでチンすることができるご飯を持って行っていました。（ご飯は恋しくなります。）その他に特に役に立ったものは、スーツケースの重さを量ることができる機械です。手軽に持ち運びができ、帰国の時や旅行に行く時に重さの不安をなくすことができました。ゴールドコーストは冬でも寒くないと思いがちですが日本人からすると、7 月頃は朝と夜は冷え込むので冬用の服を何着か持って行くべきです！

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学帰国後に TOEIC の点数が 300 点ほど上がりました。留学前は英語を話すことに抵抗がありましたが、留学を経て自分はできないという気持ちがなくなり、英語に対して自信が持てるようになりました。英語面以外でも自分自身を成長させることができました。考え

方など視野も拡げることができたと思います。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

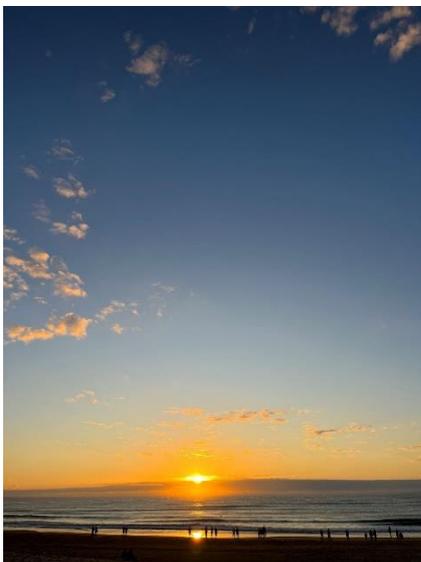
留学してみたいという気持ちが少しでもあるならすべきだと思います。円安で費用が高いなど課題点もたくさんありますが、大学生の今だからこそできる経験だと思います。留学に行くと楽しい経験だけではないですが、自分自身成長することができ行って良かったと心から思える留学生活になります。少しでも興味があるなら、行きたいと思ったときに参加すべきだと思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

将来は航空関係の仕事に就きたいと考えています。日本だけに狭めず、海外で働くのも候補にいられています。英語を通して外国人の助けをしたり、たくさんの国の人と会話したりして誰かを笑顔にするために働きたいです。

V. 写真



この写真はサーファーズパラダイスから見た朝日の写真です。空気もとてもきれいで、この日朝早くから起きて見た朝日は感動で思い出が詰まっています。



この写真は語学学校が終わってから、シドニーとメルボルンに旅行に行ったときのシドニーのオペラハウスです。中に入ることはできなかったけれど、実際にオペラハウスを見ることができて昼と夜で見方が異なり、美しかったです。